

**2021 年 7 月(第 4 版)

*2020 年 11 月(第 3 版)

機械器具 01 手術台及び治療台

一般医療機器 汎用診療・処置台 JMDN13958000

特定保守管理医療機器 搬送用ストレッチャー システム

*【形状・構造及び原理等】

概要

本品は病院内で使用するストレッチャーで、昇降、傾斜機能を備え、いろいろな医療現場で対応できるストレッチャーである。

構成

本品は、以下に示す 6 種類のストレッチャーがある。

- (1) プロシージャルストレッチャー
- (2) 搬用(トランスポート)ストレッチャー
- (3) サージカルストレッチャー
- (4) 電動式(エレクトリック)ストレッチャー
- (5) トラウマストレッチャー
- (6) OB/GYN(産婦人科用)ストレッチャー

以下にそれぞれの形状、構造を示す。

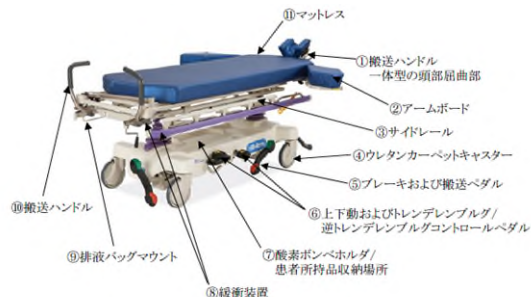
(1) プロシージャルストレッチャー



(2) 搬送用(トランスポート)ストレッチャー



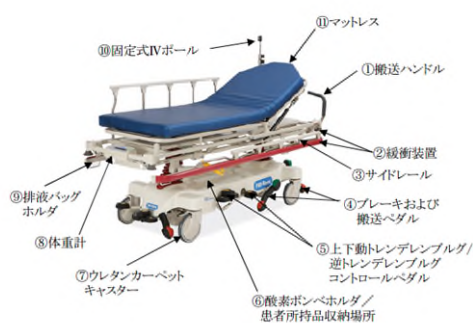
(3) サージカルストレッチャー



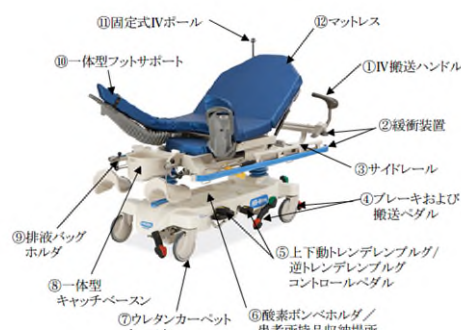
(4) 電動式(エレクトリック)ストレッチャー



(5) トラウマストレッチャー



(6) OB/GYN(産婦人科用)ストレッチャー



原理

病院内で治療をしながら使用するストレッチャーで、昇降駆動機能によってベッドの高さを変更できる。また、傾斜駆動装置によってベッドの上半身の位置の傾きを変更できる。

外形寸法

寸法

プロシージャルストレッチャー; 全長 210.8cm
 搬送用(トランスポート)ストレッチャー; 全長 210.8cm
 サージカルストレッチャー; 全長 233.7cm
 電動式(エレクトリック)ストレッチャー; 全長 210.8cm
 トラウマストレッチャー; 全長 210.8cm
 OB/GYN(産婦人科用)ストレッチャー; 全長 203.5cm
 重量(マットレス、アクセサリを除く)

使用前に取扱説明書をご参照下さい

プロシージャルストレッチャー;120.2kg
搬送用(トランスポート)ストレッチャー:120.2kg
サージカルストレッチャー;129.3kg
電動式(エレクトリック)ストレッチャー;161.0kg
トラウマストレッチャー;131.5kg
OB/GYN(産婦人科用)ストレッチャー;147.4kg
最大許容荷重
318kg(患者体重、アクセサリ、マットレス含む)

【使用目的又は効果】

本品は病院内を移動するストレッチャーで治療をしながら安全に患者が移動できることを目的とする。

【使用方法等】

機能ごとの使用方法を以下に説明する。

- (1) ストレッチャーの搬送、ニュートラル、ブレーキ
オレンジ色のブレーキペダルを押すと、ブレーキが掛かる。
搬送ペダルを水平位置にすると、ニュートラルになり、室内
または狭い空間で移動させるときに使用する。
緑色の搬送ペダルを押すと、搬送システムが作動する。
- (2) ストレッチャーの上下移動
上昇ペダルを押すと、ストレッチャーが上昇する。
下降ペダルを押すと、ストレッチャーが下がる。
- (3) トレンデンブルグ操作
トレンデンブルグコントロールペダルを押すと、ストレッチャーがト
レンデンブルグ体位になる。
- (4) 逆トレンデンブルグ操作
逆トレンデンブルグコントロールペダルを押すと、ストレッチャーが
逆トレンデンブルグ体位になる。
- (5) サイドレールの固定
サイドレールの上部を持ってサイドレールをベッドデッキの下から引
き出し、所定の位置にロックされるまで引き上げると、サイドレール
が上がった状態で固定される。

【使用上の注意】

- (1) 患者の搬送時を除き、ベッドに人がいるときは常にブレーキをセッ
トしておいてください。注意を怠ると怪我や、機器の破損が生じる可能
性があります。
- (2) 施設基準に従って患者が挟み込まれる危険性を評価し、患者を適
切に監視してください。
- (3) 患者抑制具は、適切な看護行為に代わるものとして意図されたもの
ではありません。患者抑制具は、適切に取り付けられていても、興奮
状態などの患者の場合には、挟まれ事故、怪我および死亡につなが
る可能性があります。
- (4) 決められた環境条件内でストレッチャーを使用してください。
- (5) 可燃性のガスや蒸気のある場所でベッドを操作しないでください。
- (6) 酸素投与機器は経鼻型、マスク型又は人工呼吸器型のみを使用し
てください。酸素 TENT を付けてベッドを操作しないでください。
- (7) 搬送中は、ストレッチャーのキャスターとポータブル IV ポールのキ
ャスターが触れないようにしてください。
- (8) ストレッチャーを下げるときには注意してください。小物入れの中の
物品が上部フレームやサイドレール取り付けブラケットの邪魔になっ
ていないことを確認してください。
- (9) 搬送中はストレッチャーが倒れたりバランスを崩したりしないよう
に注意してください。
- (10) ストレッチャーの位置を変える場合には、フレームの近くに手足を置
いている人がいないことと、フレームの周囲に機器類がないことを確

認してください。

*【保管方法及び有効期間等】

保管方法

温度範囲 -40～70 °C

湿度範囲 20～95 % (結露なし)

気圧範囲 500～1060 hPa

*【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検＞

- ・ 常に使用前後の点検を励行し、外観および製品機能を確認してく
ださい。取扱説明書や接続・注意書きに沿ったご使用において、故障
や品質不良が発生した場合は、下記販売業者に点検(修理)を依頼
してください。

1. 使用前の点検項目

- ・ マットレス
- マットレスの破損の有無
- ・ 電源コード及び電源プラグ
- 電源コードおよび電源プラグの破損の有無
- ・ バッテリー充電状態
- バッテリーは充電された状態であるか
- ・ 電源 ON/OFF スイッチ
- 電源 ON/OFF スイッチが機能するか

2. 使用後の点検項目

- ・ マットレス
- マットレスの破損の有無
- 3. 清掃・消毒の手順
- ・ ストレッチャーを外部電源から切り離してください。
- ・ 使用する清掃／消毒剤は取扱説明書の内容を確認してください。
- ・ 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、清掃／消毒剤を浸し
た布等で清拭してください。

＜業者による保守点検＞

- ・ ストレッチャーを安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業
者による保守点検を年に一度実施してください。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ヒルロムジャパン株式会社

外国製造所(国名)

ヒルロム、インク(米国)

Hill-Rom, Inc.

使用前に取扱説明書をご参照下さい